

エプソンの環境ビジョンについて

～長野県内の再生可能エネルギー電源開発の支援～

2021年 5月 27日

セイコーエプソン株式会社

常務執行役員

生産企画本部長

島田 英輝

地球を友に

2050年に「カーボンマイナス」と 「地下資源*1消費ゼロ」を達成し、 持続可能でこころ豊かな社会を実現する

達成目標

- 2030年：1.5℃シナリオ*2に沿った総排出量削減
- 2050年：「カーボンマイナス」、「地下資源*1消費ゼロ」

*1 原油、金属などの枯渇性資源

*2 SBTイニシアチブ(Science Based Targets initiative)のクライテリアに基づく科学的な知見と整合した温室効果ガスの削減目標

長期ビジョンEpson 25 Renewedで掲げる4つの取り組み

1

脱炭素

再生可能
エネルギー
活用

2

資源循環

3

お客様の
もとでの
環境負荷低減

4

環境技術開発

100%再生可能エネルギー化に向けた取り組み

100%再エネ化 の完了拠点

2020年3月以前	生産拠点(英国・米国ポートランド)
	欧州販売本社拠点(ドイツ・フランス・イタリア・オランダ・スペイン)
	長野県内3拠点(本社、広丘、塩尻) 信州Greenでんき 
	全ての欧州販売本社拠点(英国含む)
	生産拠点(フィリピン)
2021年1月	全ての長野県内拠点*1 信州Greenでんき 
2021年4月	全ての日本国内拠点*1
2023年	全ての海外拠点*1

今後の取り組み

*1:一部、販売拠点などの賃借物件は除く

2021年4月加盟

RE100

**CLIMATE
GROUP**

CDP

持続可能な社会の実現に寄与するため 「信州Green電源拡大プロジェクト」を通じて地域と協働

- 1 地域において再生可能エネルギー電源開発に直接貢献し、再エネへの切り替え加速に寄与
- 2 長野県が目指す「ゼロカーボン推進」「電気の地産地消推進・レジリエンスの強化」「地域経済の活性化」への貢献
- 3 PRを通じた再生可能エネルギーの普及促進

持続可能でこころ豊かな社会を実現する



